

# 徳島県と鳴門市は、「板東俘虜収容所関係資料」のユネスコ「世界の記憶」への登録にチャレンジしています。

## 板東俘虜収容所関係資料とは？



第1次世界大戦の戦禍が世界中に広がる中、1914(大正3)年11月、日本とドイツは中国山東半島の青島で戦い、その結果戦争捕虜となったドイツ兵は、日本全国に設けられた収容所に終戦まで収容されました。

板東俘虜収容所は、1917(大正6)年から1920(大正9)年までの間、現在の鳴門市大麻町板東に置かれた収容所で、所長の松江豊寿大佐の博愛の精神に基づく方針のもと、自由な気風あふれる収容所経営がなされました。

「板東俘虜収容所関係資料」はその約3年半にわたるドイツ兵捕虜の生活と文化活動の記録であり、この板東に地から芽生えた徳島の人びととドイツの人びととの心温まる交流の記憶です。

そしてその交流の「記憶」は、現在の徳島県とニーダーザクセン州、鳴門市とリュネブルク市との交流の礎となっています。

「板東俘虜収容所関係資料」は、コンサートプログラムなどの印刷物(県指定有形文化財(歴史資料))、ドイツ兵の慰霊碑(県指定史跡)のほか、その生活の様子が分かる写真などです。

徳島県と鳴門市は共同でこの板東に伝わる奇跡の記憶をユネスコ「世界の記憶」に申請し、世界平和と友好のメッセージを発信していきます。

## 「板東俘虜収容所」遺跡めぐりウォーキング! 参加者募集要項

楽しく健康づくり!

さわやかな秋空のもと、約4km道のりを楽しくウォーキング!

板東の奇跡を知る!

ドイツ村公園(収容所跡)、ドイツ橋、霊山寺などドイツ兵捕虜ゆかりの地を巡ります。

展示解説もあります!

鳴門市賀川豊彦記念館と鳴門市ドイツ館では、特別展示を実施中!

申込方法

①インターネットでのお申し込み

徳島県のHPもしくは右のQRコードからアクセスしてください。

②おハガキによる申し込み

往復ハガキに氏名(1枚に4名まで)・住所・電話番号をご記入してお申し込みください。



携帯用



スマートフォン用



往復ハガキの記入例

【往信表】〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地  
徳島県教育委員会 教育文化課  
「板東俘虜収容所遺跡めぐりウォーキング」係

【往信裏】①お名前(4名まで) ②ご住所(代表者) ③電話番号(代表者)

【返信表】代表者の方のご住所、お名前

【返信裏】空白でお願いします。(受付シールを貼って返信します。)

申込締切

平成28年10月5日(水) \*当日消印有効  
申し込み多数の場合は抽選にて参加者を決定させていただきます。

問合わせ先

徳島県教育委員会  
教育文化課

「板東俘虜収容所遺跡  
めぐりウォーキング」係

Tel : 088-621-3267